

農業リスク診断活動

1. 目的

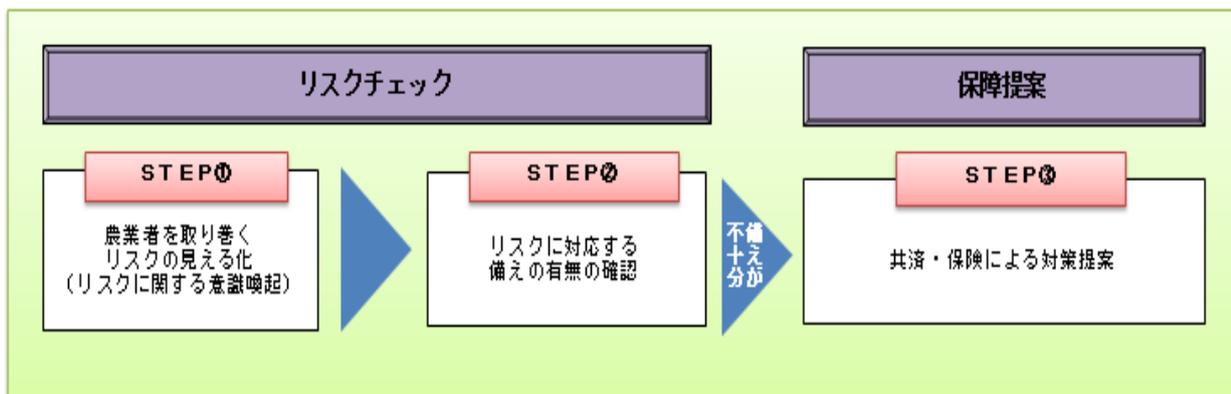
農業経営の大規模化や法人化、6次産業化等、農業構造の変化に伴い、農業者を取り巻くリスクは増大・多様化していることから、これらのリスクの“見える化”を図るとともに、それらへの対策のご提案を行います。

2. 活動概要

J Aが主体となり、農業者に対して、農作業中のケガや出荷した農産物の回収などの農業経営を取り巻くリスクに関する説明を行うとともに、そのリスクへの対策状況を診断します。

診断により対策が必要な農業リスクが確認できた場合、これまでのJ A共済仕組みや共栄火災商品に加え、新保障「農業応援隊」によりリスクへの備えをご提案します。

<農業リスク診断活動イメージ>



STEP①② 農業者を取り巻くリスクについて、代表的なリスクや事故例を交えながら、ご自身の業務に照らして、対策の必要性と有無にかかる確認を行います。

STEP③ リスクに対応する備えがない場合は、J A共済の仕組みや共栄火災の商品を活用し、提案します。

以 上